

お寺の子ども会 西教寺進徳だより

日曜学校

西教寺蔵本通支坊 2012.10.14 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

よめる・よめる

秋ですね。皆さんにとっては、何の秋ですか？ 先日のお寺の法座（仏さまのお話を聞く会）で、ご講師のN先生がおっしゃいました。

毎日忙しいですが、今年も気がついたらあと数ヶ月ですね、ところで忙しいとは、「ト（ところ）」を「亡（な）くす」と書きます。「忘」という字も同じ、「心」と「亡（なくす）」で大切なことを忘れてしまう（しまっている）ことを意味するそうです。そこで、このたびのご縁ではちよつと立ち止まって、大切なことを見失っていないか、自分を見つめ直してみましょう云々…。

そうしようと思つて、しばらく考えてみたのですが、なかなか自分がどうなっているのか、何を忘れてしまっているのか見えてきません。上手くないかなあと感じていると、以前S住職から聞いた話を思い出しました。京都市叡山は、親鸞さまが若き日に修行されたところで、千日回峰行という修行で有名ですが、そこで行われている止観行（しかんぎょう）という修行は、つまると

安芸南組報恩講 ほとけの子の集い

12月25日（火）
10時30分～15時

です。皆さんお誘い合わせ
ご参加ご予定下さい。

ころ「止（とまって）」「観（みる）」修行なのだそうです。身体を止めることももちろん、心を止めて、そして観るということだそうです。ふだんバイクで通る道も、歩いて通ると見えるものが全然違います。止まってみるとさらに違った景色が見えてきますね。「ああそうか、私の心は歩いたまま止まっていなかったんだ」と気づきました。自分を見つめようとしながら、心は、法座がすんだらあれをやつてこれもやつて…と、全然止まっていなかったことに気づいたことです。

頭を下げると

そこで、今度は心を止めようと思つたのですが、いろいろな用事が気になつて気がつくときすぐそのこと

を考えてしまい、なかなかうまくいきません。そうこうしているとN先生がおっしゃいました。お寺の古い三門は足下に大きな木が横に通っています。バリアフリーの時代に危険極まりないものです。ふんぞり返つて下を見ずに通ると蹴躓（けつすま）します。お寺の三門は教えている、仏法の世界にはまず頭を下げるべし、頭を下げなければ大切なものは見えないと…。

そうか、合掌して頭を下げるとはそういう意味があるのかと、それから毎日仏さまの前で頭を下げてみるのですが、これがなかなか上手いきません。自分の人生やいのち

に対して謙虚になれない、傲慢な私は、形も上手くできないし、何より心の頭がさがりません。結局日々を「忙」しく、何かを「忘」れたままそれに気づかず経過してしまっています。

こんな詩に出会いました。

むかい風のなかを

自転車でゆく人が

ひとこぎ ひとこぎを

ていねいに

頭をさげつづけて

ゆきます

『浅田正作『骨道を行く』』

小さなお子さんを持つご家族に出あうと、わが子が小さかった頃が夢のようにです。今日一日、一日を丁寧に、私も頭を下げられるようになりたいと願うことです。

次回、お寺の子ども会は、

11月11日（日）

9時～10時

です。皆さんお誘い合わせ
ご参加ご予定下さい。





各種シロップに加え、今年は大奮発して、みかんとかくだもののトッピングつき。

二度とない今年の夏休み、子供たちの心には何が残ったのでしょうか。大切な思い出になってくれたらいいと思います。

お腹が一杯になったところで人形劇。友だちのサル吉と黒ブー。サル吉はお寺の窓を割ってしまいますが、怒られたくないのです。嘘をついてしまいます。ウソをつかれ人はどんな気持ちがあるでしょう。ウソをついた人はどんな気持ちで過ごさなければならぬのでしょうか。人形劇を見ながら子供たちは何を感じてくれたのでしょうか…。



「昼ご飯。多くのいのちと皆さまのおかげにより…」ほとけの子どもはみんな合掌していただきます。

昼ご飯の後は、お楽しみのかき氷食べ放題。至心幼稚園からお借りした製氷機は、水のきめが細かくて口当たりが絶品。そのへんの氷ではありません。五杯食べたという子どももいました。お腹をこわさなかつたでしょうか。



広島市から参加の元中さんご一家。唯優ちゃんも参加してくれました。



人形劇の様子。もん吉くんとくろブーくん。